岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　主要地方道　千代田八千代線　道路改良事業に伴う設計業務委託

事　業　・　工　事　名　令和4年度 主要地方道　千代田八千代線道路改良事業に伴う設計業

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3	調査位置	広島県山県郡北広島町南方	北緯	34° 35’ 40.2500″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和4年10月18日～ 令和4年10月20日	東経	132° 34’ 02.6600″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 288.51m	角度	上180° 90° 下0° 0°	方向	北0° 東90° 南180° 西270°
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 32°	使用機種	試錐機：東邦D-1型 / エンジン：ヤンマーNFD150型 / ポンプ：東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm／h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L／min)	排水量 (L／min)
1	286.91	1.60	△△△△△△△△△△△△	崖錐堆積物	暗茶							GL 91 100 / 4 61 100	表層から20cmは腐植土である。 細砂～細粒土を主体としている。 φ10mm程度の亜角礫が点在。	10/19 1.77	0 10 20 30 40 50 60	3	1.15	3	300				10/18	100	66	打込み／	0	0	0	W1	0
2						w3	h2	D	Ⅲ	c	CL					50以上	1.45 2.00	貫入不能							66/ケーシング						
3												19 39 100 / 13 45 100	地層境界付近では，礫状コアとなるが，全体的に比較的新鮮で硬質な流紋岩である。 白色脈沿いに亀裂が生じている。 亀裂沿いに礫状となる箇所も見られる。 白色脈の一部は細粒化している。 観察による岩級区分は，CM級に相当する。 GL-2.0m付近まで掘削水が漏水するが，GL-2.0m以下から掘削水が戻ってくる。																			
4				流紋岩	暗青	w2	h2	B	Ⅱ	b	CM	24 54 100												60	66	ダブルアニュラービット	20	240	0	W5 3	1
5	283.51	5.00												10/19 5.00									10/19								
6																															
7																															
8																															
9																															
10																															